

四半期報告書

(第65期第1四半期) 自 平成21年4月1日
至 平成21年6月30日

サンメッセ株式会社

(E00719)

本文書は、E D I N E T (Electronic Disclosure for Investors' NETwork) システムを利用して金融庁に提出し閲覧されております四半期報告書の内容を、P D F化したものです。

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成21年8月11日
【四半期会計期間】	第65期第1四半期（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）
【会社名】	サンメッセ株式会社
【英訳名】	Sun Messe Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 田中 義一
【本店の所在の場所】	岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5番地の1
【電話番号】	(0584) 81-9111 (代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 千代 耕司
【最寄りの連絡場所】	岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5番地の1
【電話番号】	(0584) 81-9111 (代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 千代 耕司
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 (東京都中央区日本橋茅場町1丁目5番8号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第64期 前第1四半期 累計（会計）期間	第65期 当第1四半期 累計（会計）期間	第64期
会計期間	自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日	自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日	自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日
売上高（千円）	3,567,471	3,095,957	14,512,521
経常利益又は経常損失（△）（千円）	5,345	△81,447	△22,623
四半期純利益又は四半期（当期）純損失（△）（千円）	4,201	△59,163	△146,964
持分法を適用した場合の投資利益（千円）	—	—	—
資本金（千円）	1,236,114	1,236,114	1,236,114
発行済株式総数（株）	17,825,050	17,825,050	17,825,050
純資産額（千円）	10,994,178	10,379,563	10,394,540
総資産額（千円）	18,493,618	17,894,307	17,925,017
1株当たり純資産額（円）	639.09	603.37	604.24
1株当たり四半期純利益金額又は四半期（当期）純損失金額（△）（円）	0.24	△3.44	△8.54
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	—	—	—
1株当たり配当額（円）	—	—	6.00
自己資本比率（％）	59.4	58.0	58.0
営業活動によるキャッシュ・フロー（千円）	177,466	326,558	1,000,188
投資活動によるキャッシュ・フロー（千円）	△27,566	△174,068	△663,608
財務活動によるキャッシュ・フロー（千円）	211,604	305,754	△116,522
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高（千円）	1,384,047	1,700,845	1,242,601
従業員数（人）	748	749	732

（注） 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資損益につきましては、関連会社がないため記載しておりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額につきましては、第64期第1四半期累計（会計）期間は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、第65期第1四半期累計（会計）期間は潜在株式が存在しないため、第64期は1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

3 【関係会社の状況】

当第1四半期会計期間において、関係会社の状況の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 提出会社の状況

(平成21年6月30日現在)

従業員数（人）	749 [181]
---------	-----------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時従業員数は[]内に当第1四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

以下の各項目の記載金額には消費税等は含まれておりません。

(1) 生産実績

区分	前第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	
	金額(千円)	金額(千円)	前年同四半期比(%)
一般商業印刷物	2,791,939	2,310,590	82.8
出版印刷物	443,916	422,344	95.1
包装印刷物	332,351	348,648	104.9
計	3,568,207	3,081,583	86.4

(注) 金額は販売価格で表示しております。

(2) 受注実績

① 受注高

区分	前第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	
	金額(千円)	金額(千円)	前年同四半期比(%)
一般商業印刷物	3,154,590	2,544,948	80.7
出版印刷物	470,006	451,141	96.0
包装印刷物	403,671	435,193	107.8
計	4,028,268	3,431,283	85.2

(注) 金額は販売価格で表示しております。

② 受注残高

区分	前第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	
	金額(千円)	金額(千円)	前年同四半期比(%)
一般商業印刷物	1,394,051	1,036,855	74.4
出版印刷物	246,916	233,940	94.7
包装印刷物	187,498	180,955	96.5
計	1,828,466	1,451,752	79.4

(注) 金額は販売価格で表示しております。

(3) 販売実績

区分	前第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	
	金額(千円)	金額(千円)	前年同四半期比(%)
一般商業印刷物	2,796,023	2,317,385	82.9
出版印刷物	446,210	426,774	95.6
包装印刷物	325,237	351,797	108.2
計	3,567,471	3,095,957	86.8

2【事業等のリスク】

当第1四半期会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期会計期間におけるわが国の経済は、世界的な金融不安により大きな影響を受けた景気の急激な悪化に底打ちの兆しが見えてきたものの、企業業績の不振や雇用環境の悪化、個人消費の低迷など依然として先行き不透明な状況となっております。

このような事業環境の中で当社は、「業績向上の年」を会社の年度方針として、顧客開拓や深耕営業を図るとともに、更なるコスト低減を推進してまいりました。

売上の部門別では、一般商業印刷物は、カタログや折込チラシなどが前第1四半期会計期間を下回り23億17百万円（前年同四半期会計期間比17.1%減）、出版印刷物は4億26百万円（同4.4%減）、包装印刷物は3億51百万円（同8.2%増）となり、厳しい環境の中で、当社の主力分野である一般商業印刷物が前年実績を大幅に下回りました。

以上の結果、売上高は30億95百万円（前年同四半期会計期間比13.2%減）、営業損失は1億1百万円（前年同四半期会計期間は営業損失24百万円）、経常損失は81百万円（前年同四半期会計期間は経常利益5百万円）、四半期純損失は59百万円（前年同四半期会計期間は四半期純利益4百万円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、投資活動による資金の減少が、前第1四半期会計期間と比べて1億46百万円多くなりましたが、営業活動による資金の増加が、前第1四半期会計期間と比べて1億49百万円多くなり、財務活動による資金の増加が、前第1四半期会計期間と比べて94百万円多くなったことにより、前第1四半期会計期間と比べて3億16百万円増加し、当第1四半期会計期間末には17億円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期会計期間において営業活動による資金の増加は、前第1四半期会計期間と比べて1億49百万円増加し、3億26百万円となりました。これは、営業収入が3億40百万円前第1四半期会計期間と比べて減少しましたが、原材料の仕入・外注費の支出が1億69百万円、人件費の支出が1億1百万円、そして法人税等の支払額が1億28百万円それぞれ前第1四半期会計期間と比べて減少したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期会計期間において投資活動による資金の減少は、前第1四半期会計期間と比べて1億46百万円増加し、1億74百万円となりました。これは、投資有価証券の取得による支出が99百万円前第1四半期会計期間と比べて減少しましたが、有形固定資産の取得による支出が1億44百万円前第1四半期会計期間と比べて増加したことや、投資有価証券の売却及び償還による収入が1億円前第1四半期会計期間と比べて減少したこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期会計期間において財務活動による資金の増加は、前第1四半期会計期間と比べて94百万円増加し、3億5百万円となりました。これは、短期借入れによる収入が1億円前第1四半期会計期間と比べて増加したこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期会計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期会計期間における研究開発活動の金額は、27百万円であります。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期会計期間において、前事業年度末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	60,000,000
計	60,000,000

②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数（株） （平成21年6月30日）	提出日現在発行数（株） （平成21年8月11日）	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	17,825,050	17,825,050	ジャスダック証券取引所	単元株式数100株
計	17,825,050	17,825,050	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 （株）	発行済株式総 数残高（株）	資本金増減額 （千円）	資本金残高 （千円）	資本準備金増 減額（千円）	資本準備金残 高（千円）
平成21年4月1日～ 平成21年6月30日	—	17,825,050	—	1,236,114	—	1,049,534

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成21年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

（平成21年6月30日現在）

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等） （注1）	普通株式 622,400	—	—
完全議決権株式（その他） （注2）	普通株式 17,200,100	172,001	—
単元未満株式	普通株式 2,550	—	—
発行済株式総数	17,825,050	—	—
総株主の議決権	—	172,001	—

（注）1. 「完全議決権株式（自己株式等）」欄は、すべて当社所有の自己株式であります。

2. 「完全議決権株式（その他）」欄の株式数には、株式会社証券保管振替機構名義の株式1,100株が含まれており、同欄の議決権の数には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数11個が含まれております。

② 【自己株式等】

（平成21年6月30日現在）

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
サンメッセ株式会社	岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5番地の1	622,400	—	622,400	3.49
計	—	622,400	—	622,400	3.49

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	5月	6月
最高（円）	464	423	440
最低（円）	372	410	400

（注）最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までの役員の変動は、次の通りであります。

(1) 役職の変動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役 執行役員 営業本部長兼 公共営業部長	取締役 執行役員 営業本部長	松井 巖	平成21年7月1日
取締役 執行役員 購買本部長兼 購買部長	取締役 執行役員 マーケティング 開発部長	今井 稔	平成21年7月1日

第5【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。）に基づいて作成しております。

前第1四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）は改正前の四半期財務諸表等規則に基づき、当第1四半期会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び当第1四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）は改正後の四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期財務諸表については、監査法人トーマツによる四半期レビューを受け、当第1四半期会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び当第1四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期財務諸表については、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、監査法人トーマツは、監査法人の種類の変更により、平成21年7月1日をもって有限責任監査法人トーマツとなっております。

3. 四半期連結財務諸表について

四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（平成19年内閣府令第64号）第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目から見て、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

なお、資産基準、売上高基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合は次の通りであります。

資産基準	0.5%
売上高基準	1.0%
利益基準	4.0%
利益剰余金基準	0.2%

1 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,750,845	1,272,601
受取手形及び売掛金	2,950,619	3,447,315
有価証券	200,350	200,380
製品	88,320	101,381
仕掛品	276,865	240,407
原材料及び貯蔵品	116,110	118,663
繰延税金資産	204,000	167,000
その他	67,246	37,515
貸倒引当金	△70,986	△83,243
流動資産合計	5,583,372	5,502,021
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	※1 2,435,683	※1 2,471,265
機械及び装置（純額）	※1 2,597,742	※1 2,755,622
土地	3,840,535	3,840,535
その他（純額）	※1 302,881	※1 313,989
有形固定資産合計	9,176,842	9,381,411
無形固定資産	63,700	68,995
投資その他の資産		
投資有価証券	2,171,224	2,017,532
繰延税金資産	661,000	717,000
その他	505,165	505,453
貸倒引当金	△266,996	△267,396
投資その他の資産合計	3,070,392	2,972,589
固定資産合計	12,310,935	12,422,996
資産合計	17,894,307	17,925,017

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,647,652	1,887,658
短期借入金	2,490,000	2,120,000
1年内返済予定の長期借入金	—	50,000
未払法人税等	7,000	15,000
賞与引当金	137,000	274,000
その他	793,409	781,095
流動負債合計	5,075,062	5,127,754
固定負債		
長期借入金	150,000	100,000
退職給付引当金	1,926,440	1,926,015
役員退職慰労引当金	261,227	269,474
その他	102,014	107,233
固定負債合計	2,439,681	2,402,722
負債合計	7,514,743	7,530,476
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,236,114	1,236,114
資本剰余金	1,049,534	1,049,534
利益剰余金	8,206,783	8,317,554
自己株式	△405,195	△405,195
株主資本合計	10,087,237	10,198,008
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	292,326	196,532
評価・換算差額等合計	292,326	196,532
純資産合計	10,379,563	10,394,540
負債純資産合計	17,894,307	17,925,017

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	3,567,471	3,095,957
売上原価	2,899,646	2,593,994
売上総利益	667,825	501,962
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	101,878	88,782
貸倒引当金繰入額	53,174	—
給料及び手当	235,034	239,413
賞与引当金繰入額	64,563	45,367
退職給付引当金繰入額	16,986	15,706
役員退職慰労引当金繰入額	3,615	3,753
その他	216,786	210,415
販売費及び一般管理費合計	692,038	603,439
営業損失(△)	△24,213	△101,476
営業外収益		
受取利息	594	452
受取配当金	19,731	15,904
不動産賃貸料	16,121	15,125
その他	12,991	7,662
営業外収益合計	49,439	39,143
営業外費用		
支払利息	8,546	8,567
不動産賃貸費用	8,799	8,306
その他	2,534	2,241
営業外費用合計	19,880	19,114
経常利益又は経常損失(△)	5,345	△81,447
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	12,257
未払金戻入益	20,314	—
その他	2,960	399
特別利益合計	23,274	12,656
特別損失		
固定資産売却損	654	—
固定資産廃棄損	1,168	19,375
その他	—	2,570
特別損失合計	1,822	21,946
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	26,797	△90,736
法人税、住民税及び事業税	3,058	2,438
法人税等調整額	19,537	△34,011
法人税等合計	22,595	△31,572
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,201	△59,163

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	4,084,181	3,744,125
原材料の仕入・外注費の支出	△1,908,562	△1,738,890
人件費の支出	△1,353,739	△1,252,015
その他の営業支出	△435,174	△404,750
小計	386,705	348,467
不動産賃貸料等の受取額	30,079	23,687
不動産賃貸支出の支払額	△2,849	△2,873
立替金等の支出	△229,421	△195,257
立替金等の回収による収入	231,349	168,689
消費税等の還付額	—	14,451
消費税等の支払額	△104,839	△25,168
法人税等の支払額	△133,559	△5,437
営業活動によるキャッシュ・フロー	177,466	326,558
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△20,000
有形固定資産の取得による支出	△16,924	△161,605
有形固定資産の売却による収入	1,985	—
無形固定資産の取得による支出	△24,150	—
投資有価証券の取得による支出	△106,350	△6,660
投資有価証券の売却及び償還による収入	100,002	0
利息及び配当金の受取額	18,195	14,655
その他の支出	△518	△795
その他の収入	192	336
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,566	△174,068
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	400,000
短期借入金の返済による支出	△30,000	△30,000
リース債務の返済による支出	△980	△5,454
自己株式の取得による支出	△31	—
配当金の支払額	△43,689	△44,794
利息の支払額	△13,694	△13,995
財務活動によるキャッシュ・フロー	211,604	305,754
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	361,504	458,243
現金及び現金同等物の期首残高	1,022,543	1,242,601
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 1,384,047	※1 1,700,845

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
※1.有形固定資産減価償却累計額 11,525,150千円	※1.有形固定資産減価償却累計額 11,807,912千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
※1.現金及び現金同等物の四半期期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年6月30日現在)	※1.現金及び現金同等物の四半期期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年6月30日現在)
現金及び預金勘定 1,414,047千円 預入期間が3か月を超える定期預金 Δ 30,000千円 <hr/> 現金及び現金同等物 1,384,047千円	現金及び預金勘定 1,750,845千円 預入期間が3か月を超える定期預金 Δ 50,000千円 <hr/> 現金及び現金同等物 1,700,845千円

(株主資本等関係)

当第1四半期会計期間末(平成21年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数
普通株式 17,825千株
2. 自己株式の種類及び株式数
普通株式 622千株
3. 配当に関する事項
(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年5月22日 取締役会	普通株式	51,607	3.0	平成21年3月31日	平成21年6月10日	利益剰余金

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 603.37円	1株当たり純資産額 604.24円

(注) 1. 表示単位未満の端数は四捨五入しております。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	10,379,563	10,394,540
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期会計期間末(事業年度末)の純資産額(千円)	10,379,563	10,394,540
1株当たり純資産額の算定に用いられた四半期会計期間末(事業年度末)の普通株式の数(株)	17,202,600	17,202,600

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額 0.24円	1株当たり四半期純損失金額 3.44円

(注) 1. 表示単位未満の端数は四捨五入しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第1四半期累計期間は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、当第1四半期累計期間は潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)(千円)	4,201	△59,163
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失(△)(千円)	4,201	△59,163
普通株式の期中平均株式数(株)	17,202,881	17,202,600
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	旧商法に基づく新株予約権1種類 なお、平成20年6月30日に権利行使期間が満了しております。	—————

2 【その他】

平成21年5月22日開催の取締役会において、次の通り剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額・・・・・・・・・・・・・・・・・・51,607千円

1株当たりの金額・・・・・・・・・・・・・・・・3円

支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・平成21年6月10日

(注) 平成21年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年 8月11日

サンメッセ株式会社
取締役会 御中

監査法人 トーマツ

指 定 社 員
業務執行社員 公認会計士 松岡 正明 ⑩

指 定 社 員
業務執行社員 公認会計士 石倉 平五 ⑩

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサンメッセ株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第64期事業年度の第1四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、サンメッセ株式会社の平成20年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更1. (1)に記載されているとおり、会社は当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」が適用されることとなったため、この会計基準を適用し四半期財務諸表を作成している。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年8月5日

サンメッセ株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松岡 正明 ⑩

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石倉 平五 ⑩

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサンメッセ株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第65期事業年度の第1四半期会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、サンメッセ株式会社の平成21年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。